

June 2021

株主通信

Vol.104

目次

株主の皆様へ	P.01
[特集]	
中期経営計画「VISION2023」始動	P.02
2020年度 決算ハイライト	P.04
セグメント別概況	P.05
富士フイルムグループトピックス	P.06
新製品NEWS	P.07
投資家インフォメーション	P.08

代表取締役会長・取締役会議長

助野 健児



代表取締役社長・CEO

後藤 禎一



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、2020年度を通して、新型コロナウイルス感染症の拡大抑止という社会課題の解決に貢献すべく、グループの総力をあげて事業活動を通じた取り組みを進めてまいりました。感染症流行拡大により、様々な事業活動が制約を受ける中でも、当社がこれまで取り組んできた事業ポートフォリオの最適化や収益力向上のための努力によって、通期の当社株主帰属当期純利益を過去最高の1,812億円とするなど、堅調な業績を記録致しました。

ヘルスケア領域では、本年3月31日に日立製作所の画像診断関連事業を承継する富士フイルムヘルスケア株式会社が当社グループに加わりました。CTやMRIなど製品ラインアップの拡充に加え、当社の強みである画像技術やAI・IT技術とのシナジーにより新たな価値を生み出し、事業の拡大を図ります。

また、富士ゼロックス株式会社は4月1日から社名を変更し、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社として始動しました。「『ビジネス』に、革新を。」の事業理念の下、FUJIFILMブランドで、新しい働き方への変革および生産性の向上と創造性の発揮をもたらす製品やソリューション・サービスをグローバルに提供していきます。

2021年度は、新中期経営計画「VISION2023」の初年度となります。「ヘルスケア・高機能材料事業の成長加速」と「持続的な成長を可能とする更に強靱な事業基盤の構築」を骨子として、将来性の高い事業領域を中心に2021年度からの3年間で、研究開発と設備投資を併せて総額1.2兆円の成長投資を実施する計画です。

当社は、「富士フイルムグループの未来を創る」ことを目指し、6月29日付で助野健児を代表取締役会長・取締役会議長、後藤禎一を代表取締役社長・CEOとする新たな経営体制をスタートさせました。この新経営体制で「事業活動を通じた社会課題の解決」に取り組み、サステナブル社会の実現に貢献するとともに、2023年度に売上高2兆7,000億円、営業利益2,600億円と設定した業績目標を達成すべく、経営を行ってまいります。

なお、中期経営計画「VISION2023」について、本株主通信でも詳しくご紹介しておりますので、併せてご覧ください。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役会長・取締役会議長

助野 健児

代表取締役社長・CEO

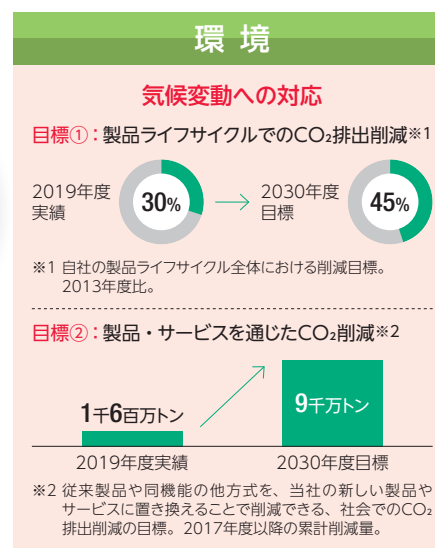
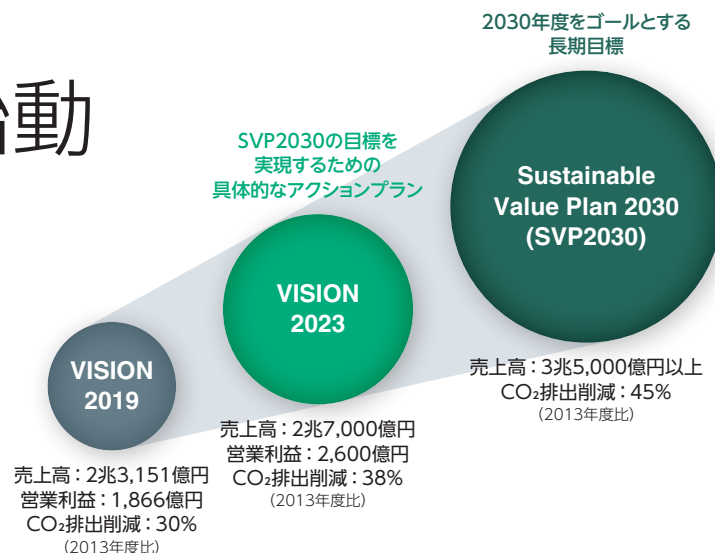
後藤 禎一

中期経営計画 「VISION2023」始動

■ 当社が目指す姿

当社は、先進・独自の技術をもって、最高品質の商品やサービスを提供する事により、「事業を通じた社会課題の解決」に取り組み、サステナブル社会の実現に貢献することを目指しています。この目指す姿を体現するための、2030年度をゴールとした長期CSR計画「Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)」で、4つの重点分野「環境」「健康」「生活」「働き方」と、事業活動の基盤となる「サプライチェーン」「ガバナンス」における課題・目標を設定しています。

本年4月15日に、SVP2030の目標を実現するための具体的なアクションプランとして、新中期経営計画「VISION2023」を公表しました。



新中期経営計画「VISION2023」(2021～2023年度)

■ 新中期経営計画「VISION2023」の概要

VISION2023の骨子

- ▶ヘルスケア・高機能材料の成長加速
- ▶持続的な成長を可能とする更に強靱な事業基盤の構築

4つの重点施策

- ・事業ポートフォリオマネジメントの強化
- ・キャッシュフローマネジメントの強化
- ・更なる成長に向けた新規市場参入
- ・M&Aにより強化した事業の統合効果創出

■ 業績目標 (単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 中期計画	2023年度 中期計画
売上高	21,925	24,400	27,000
営業利益	1,655	1,800	2,600 過去最高
当社株主帰属当期純利益	1,812	1,300	2,000 過去最高
1株当たり当社株主帰属当期純利益	453.28円	325.18円	500.27円
ROE	8.7%	6.2%	8.4%

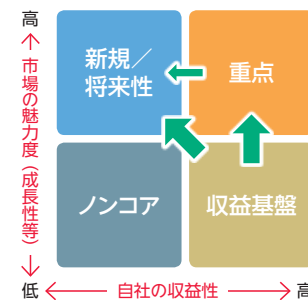
*為替前提 (中期計画)：米ドル=104円、ユーロ=124円

<重点施策①>事業ポートフォリオマネジメントの強化

各事業を「新規/将来性」、「重点」、「収益基盤」、「ノンコア」に位置付け、それぞれの事業フェーズに応じた適切な戦略実行とグループ全体の経営資源の最適配分を行います。

3か年で研究開発・設備投資等に総額1兆2,000億円以上の成長投資を行うことを計画しており、うち1兆円は「新規/将来性」および「重点」事業に集中投下します。

矢印(→)はキャッシュを含む経営資源の流れ



<重点施策②>キャッシュフローマネジメントの強化

資本効率を意識した事業運営を徹底し、ROE・ROIC※3・CCC※4を向上させ、企業価値のさらなる向上に繋がります。

事業ポートフォリオマネジメントの強化と資産の効率的な活用を通して、3か年累計で1兆円の営業キャッシュフローを創出し、そのキャッシュを成長投資に優先的に配分していきます。株主還元は、配当を重視し、安定的・継続的に配当を高めていきます。自社株買いは、キャッシュバランスを見ながら、機動的に実施していきます。

※3 投下資本利益率。経営の効率性を示す。投下資本の有効活用の観点から重要指標としている。

※4 キャッシュ・コンバージョン・サイクル。仕入れのための支払いから、製品・サービスの販売代金の回収までの日数を示したもの。

中期経営計画「VISION2023」の詳細はこちら

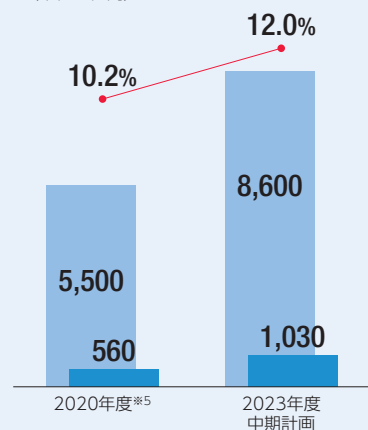
<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/presentations.html>



健康

ヘルスケア

■=売上高 ■=営業利益 ●=営業利益率
(単位: 億円)



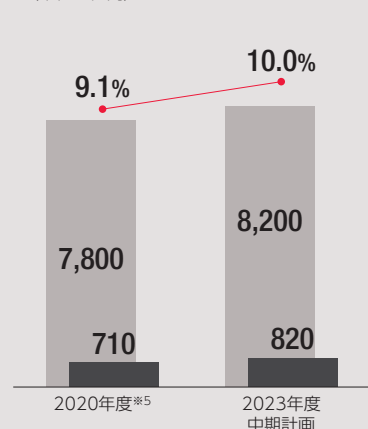
ヘルスケアを「メディカルシステム」とバイオ CDMO・再生医療・創薬支援などからなる「ライフサイエンス」に大別し、「ライフサイエンス」を統括するライフサイエンス戦略本部を新設しました。「メディカルシステム」と「ライフサイエンス」を両輪にヘルスケアを大きく成長させ、2023年度には売上・営業利益ともに当社最大のセグメントとします。

メディカルシステムは、AI技術を活用した医療ITを核に、日立製作所の画像診断関連事業を加えて診断領域のフルラインアップにより売上を伸ばします。ライフサイエンスのうち、バイオCDMOは積極的な設備投資により生産能力を拡充し、2024年度2,000億円の売上目標に向けて事業を拡大します。

働き方

ビジネスイノベーション

■=売上高 ■=営業利益 ●=営業利益率
(単位: 億円)



ビジネスイノベーションでは、生産性の向上と創造性の発揮をもたらす製品やソリューション・サービスをグローバルに提供していきます。FUJIFILMブランドの新製品の投入、代理店を通じた欧州・新興国などの新市場開拓に加え、OEM供給の拡大によって、グローバル展開を加速していきます。また、販売網や人材・技術など、富士フイルムとの共通基盤や技術アセットの相互活用を進めていきます。さらに、働き方革新およびDX（デジタル・トランスフォーメーション）を支援するソリューション・サービスをグローバルに提供し、お客様の課題解決に貢献していきます。

生活

マテリアルズ

■=売上高 ■=営業利益 ●=営業利益率
(単位: 億円)



マテリアルズでは、光制御材料技術、有機合成技術を活用し、AI/IoT時代の生活を支える高機能材料を提供することで、人々が安心・安全に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。成長の軸となる電子材料事業では、5Gや自動運転などに使用される最先端半導体向けをはじめとして、半導体の微細化・高集積化に対応した幅広い製品を提供することで、成長を加速させていきます。また、ディスプレイ材料事業では、スマートフォン向けに高いシェアを誇る有機EL向け材料のテレビ用途への展開や、車載ディスプレイ、VR/AR向けの製品導入など、新たな展開を進めていきます。

イメージング

■=売上高 ■=営業利益 ●=営業利益率
(単位: 億円)



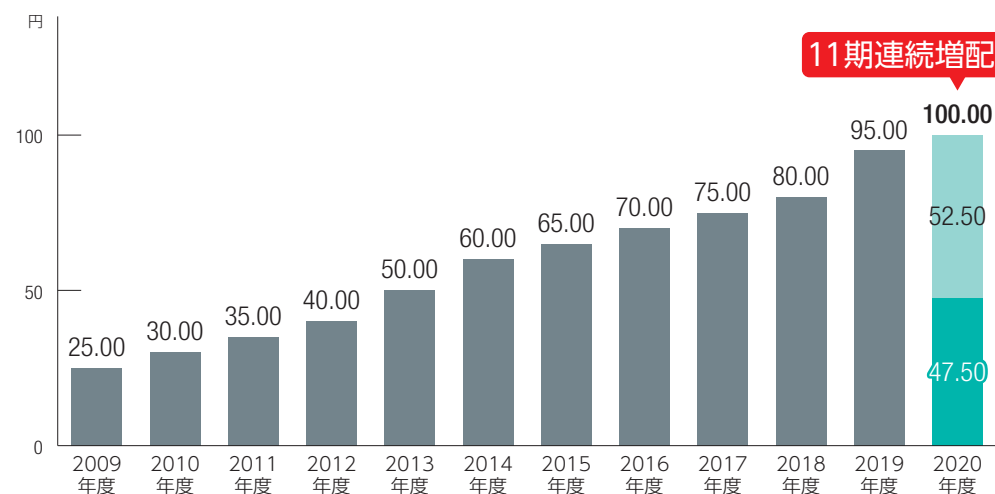
イメージングでは、写真・映像領域における、高品位かつ高性能の製品・サービスの開発や提供を通して、人生の豊かさや平和な暮らしに貢献していきます。今年度からイメージング事業部と光学・電子映像事業部を統合して「イメージングソリューション事業部」を設立し、イメージングの事業領域をコンシューマーとプロフェッショナルに再編しました。総合写真映像メーカーとしてのブランド力に加え、撮影デバイスからプリンティングまでの幅広い技術アセットをベースとして新たな製品・サービスの創出を加速します。今後も多様化する「画像・映像」へのニーズに応えていきます。

2020年度 決算ハイライト

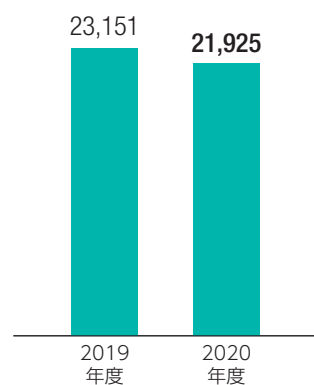
2020年度決算のポイント

新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響により、売上高、営業利益にマイナスの影響を受けました。ドキュメント ソリューション・イメージング ソリューションでは売上が減少しましたが、感染拡大抑止への対応でヘルスケアの売上が拡大するとともに、在宅勤務や在宅学習の需要を取り込んだ高機能材料も増収となりました。売上高は前年比5.3%の減収、営業利益は11.3%の減益、当社株主帰属当期純利益は前年比45.0%の増益で過去最高益を更新しました。

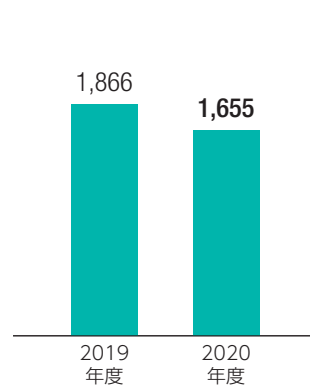
■ 配当金の推移 ■=中間 ■=期末 ■=年間



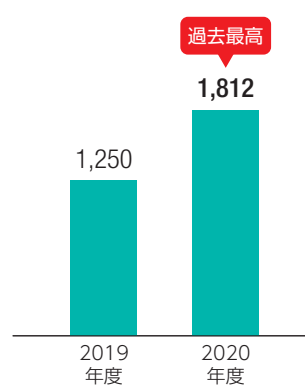
■ 売上高 (単位：億円)



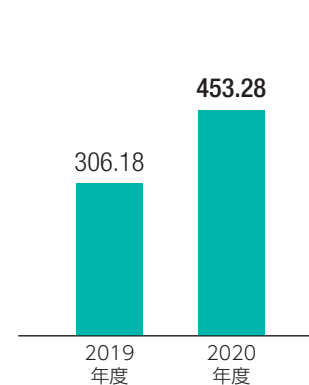
■ 営業利益 (単位：億円)



■ 当社株主帰属当期純利益 (単位：億円)



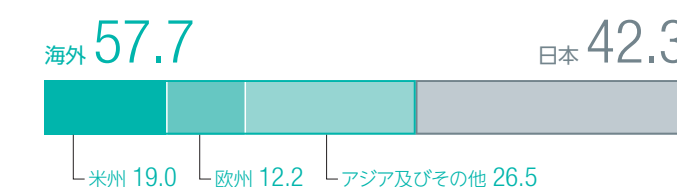
■ 1株当たり
当社株主帰属当期純利益 (単位：円)



■ セグメント別売上高構成比 (単位：%)



■ 海外売上高比率 (単位：%)



詳細な財務情報は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

アドレスはこちら > <https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>



セグメント別概況

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

<ヘルスケア>

メディカルシステム、バイオCDMO、医薬品、再生医療、ライフサイエンス

<高性能材料 等>

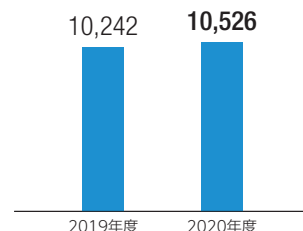
ディスプレイ材料、産業機材、電子材料、ファインケミカル、記録メディア、グラフィックシステム・インクジェット



超軽量移動型
デジタルX線撮影装置
[FUJIFILM DR
CALNEO AQRO]

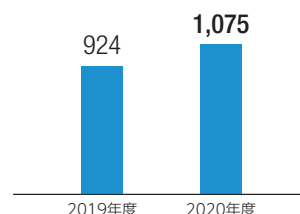
■ 売上高 (単位: 億円)

1兆526億円
(前年比2.8%増)



■ 営業利益 (単位: 億円)

1,075億円
(前年比16.3%増)



▶業績概要及び今後の取り組み

メディカルシステムでは、肺炎診断のための超軽量移動型デジタルX線撮影装置、超音波画像診断装置の販売が伸長。バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託が好調に推移し、売上増。高品質な医薬品の安定供給を通じて新薬創出をサポートし、社会課題の解決、及びヘルスケア産業の発展に貢献していく。

ディスプレイ材料では、在宅勤務拡大によるモニター及びタブレット需要の増加や、TVの販売好調に加えて、スマートフォン需要の回復に伴い、各種の高機能フィルム製品の販売が好調。また、電子材料では、データセンター用サーバーやスマートフォン向け材料など幅広い製品群で売上増。拡大する半導体需要に対し、先端プロセス用材料を軸として更なる事業成長を図り、5G/IoT時代における社会価値創造に貢献していく。

ドキュメント ソリューション

オフィスプロダクト&プリンター、プロダクションサービス、ソリューション&サービス



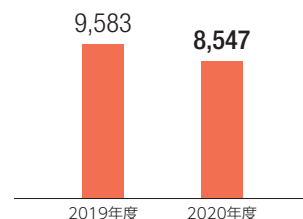
カラープリンター複合機
[Apeos C320 z]



デジタルカラー複合機
[Apeos C7070]

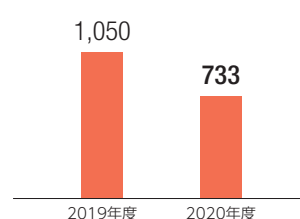
■ 売上高 (単位: 億円)

8,547億円
(前年比10.8%減)



■ 営業利益 (単位: 億円)

733億円
(前年比30.2%減)



▶業績概要及び今後の取り組み

オフィスプロダクトでは、日本・中国及びアジアパシフィック地域のそれぞれで販売台数が前年より増加。国内では、全国のセブン-イレブン店頭に設置されたマルチコピー機を利用した「ネットプリント®サービス」の需要拡大。また、FUJIFILMブランドによるグローバル展開にあたり、2021年4月にはデザインを一新し、セキュリティ機能を強化したデジタルカラー複合機及びプリンター「Apeos (アペオス)」の新製品を発売。

ソリューション&サービスでは、在宅勤務をはじめとする新たな働き方を支援するソリューションの販売が好調に推移。安全・快適にテレワークを行える個室型ワークスペース「CocoDesk」の利用も増加。今後も新しいソリューション&サービスメニューを順次提供し、顧客の多様化する働き方を支援していく。

イメージング ソリューション

フォトイメージング、電子映像・光学デバイス



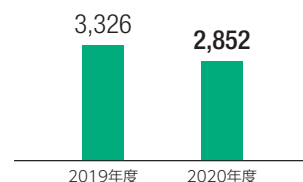
インスタントカメラ「チェキ」
[instax mini 11]



ミラーレスデジタルカメラ
[FUJIFILM X-S10]

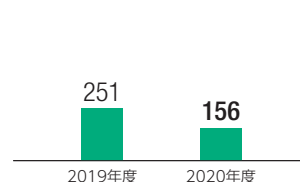
■ 売上高 (単位: 億円)

2,852億円
(前年比14.2%減)



■ 営業利益 (単位: 億円)

156億円
(前年比37.8%減)



▶業績概要及び今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症の流行拡大による世界各国での外出規制やイベント自粛の影響を受け、全体の売上は減少。

インスタントフォトシステムやデジタルカメラは、下期の売上が対前年で増加。スマートフォン用プリンター「instax mini Link」やインスタントカメラ「instax mini 11」の販売が好調。フォトブック「Year Album」の、AI技術を活用しユーザーの趣味嗜好に合った画像選択とレイアウトを自動作成、提案する機能が好評。ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-S10」は、小型軽量ボディに加えて、新開発の手振れ補正機能や優れた操作性が評価され売上が伸長。

今後多様化する画像・映像ニーズに応え、新しい価値、製品・サービスを提供するとともに、「撮る、残す、飾る、そして贈る」という写真本来の価値を世界中で伝え続けていく。

富士フイルムグループ トピックス

TOPICS

1

革新的な商品やソリューション・サービスをグローバルに提供する
「富士フイルムビジネスイノベーション」がスタート

FUJIFILM

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

「ビジネス」に、革新を。

社名が使命。変化に先駆けビジネスに革新を起こし続ける

卓越した商品とサービスで世界のお客様の成長に貢献します
すべての働く環境における業務プロセスの改革を支援します
組織の力を最大化する情報や知識の活用環境を構築します

2021年4月1日付で、富士ゼロックス株式会社は社名を変更し、「富士フイルムビジネスイノベーション株式会社」として新たに始動しました。新社名には「富士フイルムグループの企業として、常にビジネスに革新をもたらす存在であり続ける」との決意を込めています。富士フイルムグループ内の連携を強化することで、シナジー創出を加速させ、革新的な価値の提供を目指します。

国内では、今回の社名変更に伴い、国内営業部門と国内の全販売会社31社、ならびに富士ゼロックスインターフィールドを統合し、新会社「富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社」を発足しました。国内営業に関わる全ての知見やノウハウ等を含む総力を結集し、全国統一オペレーションのもと、新たな価値提供を加速するとともに、迅速かつダイナミックにお客様のニーズにお応えします。

さらに、国内・アジアパシフィック地域だけでなく、グローバルでの事業展開を加速し、FUJIFILMブランドの新製品を投入するとともに、働き方革新・DX（デジタル・トランスフォーメーション）を支援するソリューション・サービスをグローバルに提供し、お客様の課題解決に貢献していきます。

— 4月に発表したFUJIFILMブランドの新製品 Apeosシリーズ —



TOPICS

2

メディカルシステム事業のさらなる拡大へ向けて
新グループ会社「富士フイルムヘルスケア」が始動

2021年3月、日立製作所の画像診断関連事業を承継する会社「富士フイルムヘルスケア」を新たにグループに迎え入れました。これにより、富士フイルムのメディカル製品のラインアップに、CTやMRIなどの製品を加え、医療現場の様々なニーズにワンストップで応えるトータルソリューションを提供します。

新たな製品ラインアップに富士フイルムの優れた画像処理技術・AI技術を組み合わせることで、医療ITを核とするより付加価値の高いソリューションをグローバルに提供していきます。そして、メディカルシステム事業のさらなる拡大に取り組むとともに、これまで以上に質の高い豊富なソリューションを提供し、医療の質の向上と人々の健康の維持増進に貢献していきます。

TOPICS

3

富士フイルムホールディングス、
経産省と東証から「健康経営銘柄」に初選定

富士フイルムホールディングスは、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に初めて選ばれました。「健康経営銘柄」は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営※」を積極的に進めている企業を選定するものです。

富士フイルムグループの企業理念・目指す姿を実践するための基盤になる従業員の健康維持増進を経営課題として捉え、健康経営をより強く推進するため、2019年9月に「富士フイルムグループ健康経営宣言」を制定しました。生活習慣病・がん・喫煙・メンタルヘルス・長時間労働の各領域に関するグループ共通の数値目標を設定しています。例えば、がんの領域については、自社の内視鏡技術を生かした社内の医療施設を活用し、従業員に内視鏡検査を実施するなど、各領域で健康推進施策を積極的に展開しています。今後も従業員の健康維持増進に取り組むとともに、事業活動を通じて「健康」分野での社会課題の解決を加速させ、健康長寿社会の実現に貢献していきます。



※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

新製品NEWS

Healthcare & Material Solutions

美白^{*1}、ハリ、うるおいをケアするジェリー状先行美容液 「アスタリフト ホワイト ジェリー アクアリスト」新発売

エイジングケア^{*2}を目的としたアスタリフトブランドから、美白有効成分を配合した新しいジェリー状先行美容液が誕生しました。肌にうるおいを与える独自成分に加えて、メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐ有効成分「アルブチン」も配合し透明感^{*1}のある肌へと誘います。洗顔後の化粧水をつける前の素肌に使用することで、肌にうるおいとハリを与え、さらに美白もできる多機能な土台ケア^{*3}を実現します。



Imaging Solutions

クラシックなデザインで多彩なスタイルにマッチする インスタックス インスタントカメラ「cheeki」[instax mini 40]新発売

世界100か国以上で、若い世代を中心にたくさんの人々が愛用する大人気の「instax」シリーズに、新しいエントリーモデルが登場しました。カードサイズのミニフォーマットフィルムに対応し、明るい屋外から暗い場所までシーンに応じて最適な撮影条件を実現する「オート露光機能」を搭載。トレンドに左右されないシックなカメラデザインは、シンプルながらも存在感があり、どんなスタイルにも合わせやすくファッションや撮影シーンを選びません。



Imaging Solutions

高い機動力を発揮し、異次元の高画質を実現する ミラーレスデジタルカメラ[FUJIFILM GFX100S]新発売

35mm判の約1.7倍となるラージフォーマットセンサー^{*5}を搭載した、ミラーレスデジタルカメラ「GFXシリーズ」に最新モデルが登場。世界最高^{*6}1億2百万画素センサーや独自の色再現技術などにより異次元の高画質を実現します。さらに、軽量・コンパクトボディに高性能な手ブレ補正機構と高速・高精度なオートフォーカス機能も搭載。アクティブな撮影シーンでも高い機動力を発揮し、異次元の高画質をさらに身近にします。



Document Solutions

多様な働き方を支援するデジタルカラー複合機/プリンター 「ApeosPro/Apeos C/ApeosPrint」シリーズ新発売

富士フィルムビジネスイノベーションでは、デジタルカラー複合機/プリンター「ApeosPro/Apeos C/ApeosPrint」シリーズ5機種・22商品を順次発売。外観デザインを一新し、セキュリティ機能を強化した新シリーズは、クラス最小・最軽量^{*4}のプリンターからプロ仕様の高画質を実現する高機能複合機まで豊富にラインアップ。あわせてリニューアルしたブランドロゴは、「Apeos」がお客様のゴール・課題解決への懸け橋となる、という思いを表現。今後は「Apeos」ブランドを複合機・プリンターから関連するソリューション・サービスにまで拡大し、お客様のビジネスに革新をもたらす環境を提供していきます。



Imaging Solutions

気軽に持ち歩いて、本格的な撮影が楽しめる ミラーレスデジタルカメラ[FUJIFILM X-E4]新発売

独自の色再現技術による卓越した高画質と、小型・軽量を実現する「Xシリーズ」に、最新モデルが登場。クラシカルで美しいデザインのボディに、高性能なイメージセンサーと画像処理エンジン、高速・高精度オートフォーカス機能を搭載し、高画質な写真を快適に撮影できます。優れた操作性とコンパクトボディを実現し、いつでもどこへでも気軽に持ち歩いて本格的な撮影を楽しみたいユーザーに最適です。



※1 メラニンの生成を抑え、シミ・そばかすを防ぐこと。 ※2 年齢に応じたケアのこと。 ※3 しっかりとのお手入れのこと。 ※4 2021年3月現在。当社調べ。カラー、モノクロ毎分連続プリント速度30枚以上（A4片面）のA4カラープリンター/複合機の本体体積において。質量は消耗品なしの場合。 ※5 対角線の長さが55mm（横43.8mm×縦32.9mm）で、35mm判の約1.7倍の面積を持つイメージセンサー。 ※6 民生用ミラーレスデジタルカメラにおいて。2021年1月27日時点。当社調べ。

投資家インフォメーション

第125回定時株主総会の決議結果について

2021年6月29日開催の当社株主総会において報告及び決議された内容につきましては、当社ウェブサイト (<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/stock-and-shareholder/shareholders-meeting.html>) に掲載していますので、ご参照ください。



富士フイルムグループの情報サイトのご案内

統合報告書

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>



サステナビリティレポート

<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability>



株主通信

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/fujifilm-news.html>



決算発表資料

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/earnings-presentations.html>



メール配信サービスのご案内

当社の最新情報を電子メールで配信するサービスです。ぜひご登録ください。
ご登録はこちらから > <https://www.magicalir.net/4901/mail/index.php>



株主優待のご案内

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的とした株主優待制度を設けています。

- ・1年未満、単元株（100株）以上保有の株主様
当社ヘルスケア製品 優待価格販売
- ・1年以上、単元株（100株）以上保有の株主様
保有年数、株数で優待内容が異なります。

※詳細は同封の「株主優待のご案内」をご覧ください。

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

60株

—

当社に市場価格で
売却

60株

=

現金化

買増請求

100株（単元株式）に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、市場で売却できる単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

60株

+

40株を当社から
市場価格で
購入

40株

=

単元株式
(100株)

配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。
口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

①株式数比例配分方式

お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式
(証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません。)

②登録配当金受領口座方式

ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式
(ゆうちょ銀行の口座は、ご指定いただけません。)

③個別銘柄指定方式

ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式。

配当金のお受け取り・各種株式に関する手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ⇒ お取引先の証券会社
- ②特別口座にある株式 ⇒ 三井住友信託銀行
(※下記までお問い合わせください。)

三井住友信託銀行 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

FUJIFILM

富士フイルムホールディングス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号
<https://holdings.fujifilm.com>

